



発行所 青山同窓会
新湯高校内
新湯高
発行人 齊藤希弋
印刷所 オリオン印刷機



会長 鍵富清 一郎

明けましておめでとうございます。
何かと苦難の連続した四十六年をどうやら送り出して、
今年は札幌オリンピックを幕明けとする、明るい希望の
托せる年にしたいと冀っております。われわれとしまし
ては、先づ第一に、いよいよ本番登場となった母校の創
立八十周年を、各関係方面と協力、会員一丸となって記
念式典も立派に成功させなければならぬと思
いを新たにしております。
どうぞよろしくお願いいたします。

創立八十周年記念式典

今秋十月十五日(日)
挙行予定

会員各位、すでにご承知のとおり、本年、母校は創立八十周年を

迎えることとなります。同窓会として、P.T.A.、学校

いよいよ母校の創立八十周年
遂に本番登場の年を迎えることにな

った。前年、検討を重ねて決定した
記念事業の基本方針に即応して、
諸準備も万端順調に進行しており、
その成功を希う全会一致の協力態
勢も立派に整備されたので、あと
はただ会員の一人一人が、その分
に應じた熱意を寄せてくれさえし
たら、本願成就、絶対に成功疑い
なしである。ひたすらに、そうあ
ってほしいと願っている以外に、
何も無い。

記念事業のどれ一つ取ってみて
も、その完遂は、なかなか容易な
らぬ困難な仕事である。しかし、
これは、担当役員諸兄の誠意と
努力を信じて、別に不安は感じ
ない。が、最大の問題は募金目
標額を果して達成できるか、ど
うかである。正に、生かすも殺す
も、成否はそれ一つにかかって

二度も旅客機の重大事故が続
いて何百人という死者が出たり、
ドム・ショックとやらで日本中が
テラ・ワンヤの騒ぎに振り廻され
たり、政府の躍起(やつき)の反対
を尻目に、中国が国際世論の圧倒
的な支持をもち、国連の檯
舞台上にデンと腰を据えてしまっ
た。
この始末で、まるで悪い夢見の
めくりを買ったようなものだ。
あれやこれやで、誰しも心の中
では縁起直しの期待があったこと
だろうが、幸先きよく正月は連続
新記録の好天続きで、こいつは春
から縁起がいいらしい。

本番到来・本願成就

幹事長 齊藤希弋

ともどもに、相寄り、相携えて、
記念事業として、
のだから、全くサマにもならない
格好の悪い図であった。
おまけに、ケチは新潟まで捲き
込んで、ジュリアノ号なる外国船
が日和沖中に真二つに裂けて、何
千トンもの油を垂れ流すという空
前(ちん)の椿(ひ)事を惹(ひ)き起
した。
またまたその一ヶ月前に、
歌碑には関係ない用で、久し振
りに訪ねていながら、すべては後
の祭り、平常通りの応待のまま、何
を気づく由もなかった。その直後
入院されたらしいが、既に施すに
も処置のない状態であったとか。
何か悲劇的な死を想わせて、いや
さらに哀極まる感傷に沈んだこと
だ。
その通夜と葬儀とに、本会の代
表も兼ねて参列、心から冥福を
お祈りした。
歌碑の建設は、事務的な手続き
その他で、あらためて新しい相統
者の方に、ご了解を必要とするが、
根本的な支障は別に何も無い。

青山会館建設について

八十年の記念事業として、青

山会館の建設が予定され、同窓会
P.T.A.、学校の三者より委員を出
して、鋭意、基本設計の構想を研
究してまいりましたが、最近、漸く、
最終案らしきものに到達しました。
その概要は次のようなものです。
鉄筋二階建て、延べ二六二坪、
外観は記念事業として、ふさわし
いように立派なものにしたい。
一階は二一九坪で、大部分は約七
〇坪のホール兼食堂とし、調理室
購買などが附属します。うどん、
そばなど簡単なものを調理して、
提供したいと思っております。その他
日常、職員生徒の話し合いの場と
し、最近、兎角、大学や高校など
で問題となっているような、学校
生活の上げ下げを少しでも融
和できることを期待しています。
二階は九七坪で、自習室、資料
室と約三〇帖の和室となります。
前者二室は現在の学校施設で不十
分な点を補うものですが、進学相
談などにも活用が予定されています。
和室は茶道部の練習室、一クラ
ス程度の生徒の集会室となります。
これなども、学校生活をより楽し
いものとするためにも、大変役立
つものと期待しています。
最後に、管理面から考えて、是非、
全館暖房方式として頂くよう
お願いしておりますが、既に、坪
数においても、予定より十六坪超
過してまいりますので、予算的にも、
可成り超過することを心配してい
ます。何卒、皆様の多大な御賛同
と御協力により、是非、実現させ
て頂きたいとお願い申し上げます。

記念誌発行について

明治廿五年、本県最初の県立校

として創立した当校も、その後齢
を重ね創立八十周年の記念式を迎
えようとしています。
八十周年記念事業の一つとして
記念誌編集が計画されましたが、
現在組織等もでき進められ
ていますが、輝かしい歴史をもつ学
校の記念誌編集にあたり資料不足
のため現職員、同窓関係者を訪
問したりして資料の整備に当っ
ていますが、これからも同窓関係者
の御協力と御支援を一層お願いす
るわけですが、

また学校焼失等により学校の歴史
を物語る資料もなくなつていま
すので、この際御提供いただきな
り、御貸しいただくならぬと思
います。御提供いただいたもの
については学校の資料室に保管。
沿革史、教育上の資料として大切
に管理、活用させていただきます。
で次に御参考までに書いてみま
すと
一、写真類
学校の校舎、教室風景の入
ったもの、クラブ関係、修学
旅行、運動会、学校付近の風
景、新潟の風景、生徒の生活
服装、通学風景等、絵筆で描
かれたものでも結構です。
二、芝居(不足分)
一、二、三、四、五、七号
三、卒業アルバム関係(不足分)
昭和13・3卒、14・3卒、
15・3卒、16・3卒、17・3卒、18・
3卒、19・3卒、20・3卒、21・3
22・3卒、23・3卒、24・3卒、31・
3卒、32・3卒、40・3卒、44・3
卒
および昭和元年までのもの
四、青山同窓会報「青陵」
これは全部あります。
五、遊方会雑誌(不足分)
14・20・27・28・29・32・
33・34・36・43・44・45・
46・50・51号および52号以降
の関係書類
六、文集、記録類
・龍騰虎躍録 明三四発行
・発行所 青木保三
・夏木立 明三五発行
・発行所 山田熊三
・寒旗録 明三六発行
・発行所 田中完三
・二々会滿三十周年記念誌
・半世紀 第十六回 林茂編
後の二点は卒業後の各期の活躍
の様子や思い出が記された
もので学校に寄贈され保存され
ています。もしこのようなもの
が編集されたら現在ありました
ら是非お願いします。
七、新聞類
「青山」各期同窓の職場、地
域に出されている学校と関係
のある記事等

八、実物類、服装等
九、その他
大体以上ですが、もしお付付きの
ものがありませんら、今後出され
るようなことがありましたら資料
室の方にも一部お願いします。

同窓会名簿について

現在名簿は七十周年の時発行し

たので、約十年間の空白を生じ
ています。今度八十周年を記念し
て体裁、内容とも充実したものを
作ることにいたしました。
形式はB5版、活版、八百頁。
記載事項は勤務先住所、電話番号
なども入れる予定です。
一番問題なのは会員の正確な消息
を可能な限り多く集めることです。
これについては昨年末以来、各期
の幹事に大変な御苦勞を願ってお
り、事務局の方としても空白とな
っている最近の十期分について努
力していますが、半数以下しか確
認できない状況です。
これでは立派な体裁にふさわし
くない、みづもなにもなる
恐れがありますので、会員各位の
積極的な御協力を切望します。
作業スケジュール
第一次原簿編切……三月末日
第二次原簿編切……五月末日
印刷所へ原簿送り……六月末日
印刷、校正(二、三回)
完成……十月十五日

尚編集を担当する係である在校
職員一同努力しておりますが、社
会情勢の変化に伴い、本務も多忙
になって来たことなど色々制約も
ありますので、片手間では仲々思
うように参りません。
事務局員といつても岩田さん一人
です。名簿関係で本年四月以
降半年位専任として働ける人が必
要であります。
適当な方がおられましたら御推
薦がたいと思います。

○円程度と見積られています。記
念事業予算に計上されている発行
費二五〇万円ではどうにもなりま
せんし、販売準備を安くしてご希
望の方に軽く差し上げられるよ
うにしたいと計画を進めています。
その為同窓会名簿に同窓各位
の広告を二頁、二万円、半頁、一
万円で募集することにいたしまし
ます。

創立30周年記念の
思い出

34回 堀 保利

私が新潟中学校に入学したのは
大正十一年の春であった。その母
校が今年創立八十周年記念を迎
えるとき、全く感慨無量である。
私の入学した年は創立三十周年
に当たっていた。もう五十年も前
のことなので記憶もおぼろではあ
るが、入学の喜びに続いて三十周年
記念を迎える喜びは今でも鮮明に
覚えている。
何しろ田舎の小学校から新中へ
入学したのだから、それだけでも
喜びで一杯だったのにこれに三十
周年記念を迎えるので喜びは大変
なものであった。入学早々、記念
行事の準備、式の歌の募集と発表
その歌の練習、提灯行列の準備、
などがあってお祝い準備一色に包
まれて、何んだか心も浮かれてい
たという感じであった。
記念式典の際、記念講演として
青木得三先輩(第九回卒、当時大
蔵省参事官)が「ベルダンよりへ
る血をわがした名演説であった。
「ベルダン」と題した講演は私共青少
年の血をわがした名演説であった。
今でも語り草となっており、何人
かの人によって既に紹介されてい
る。勿論ベルダンは第一次大戦の
激戦の地であり、ベルダンはその講
和会議の行われた町である。従っ

てその論旨は戦争より平和へを強
調した極めて格調高いものであ
った。私は青木先輩の演壇の態度や
口調なども五十年経った今でも
つきり覚えている。
それ程印象的であった。学年
提灯行列の準備もあつた。学年
毎に山車を出すことになった。委
員が選ばれてその準備に当つた。
又その際の祝歌の募集があつた。
当時四年生の長井直二氏の詩が
当選した。
長井氏は後に中居と改姓し、日
本軽金属(株)の重役を経て現在は苦
小牧共同発電(株)の社長である。一
年の私としては在校の而も四年生
の人の詩が当選したことは驚きに
驚きであった。この歌の練習もあ
つた。私の家は田舎で通学が困難で
あつたので、入学と同時に寄宿舎
に入った。寄宿舎も記念日を迎え
る気分一杯であった。
私は海岸の松林で夕日を眺めな
がら、よくこの歌を唄った。勿論
提灯行列の夜は皆んなと一緒に声
を張り上げてうたった。
私は卒業後同窓会の席で自己紹
介をしたあと「私が入学した年は
創立三十周年で記念の行事があり

の経過を報告の上、委員長同会の
下に最初の顔合せなので懇談的に
意見交換をおこない、次ぎの申し
合せをして散会した。
一、歌碑に刻す一首をいかにし
て選定するかを主眼として、
広く有識者の推薦を徴するこ
とにして、アンケート等の方
法を求めた。
二、その一首も、絶対に先生の
真蹟の求められるものでなけ
ればならない。
三、次回は一月二十日以後とす
る。

会津八一先生歌碑
建設について

十二月十八日第一回委員会を本

町八白鶴ビルに開く。
委員長 石井四郎
副委員長 白勢誠一
近藤 圓
委員 野呂 重行
小林 智明
番 外 齊藤 希弋
小山 久一
冒頭、齊藤幹事長よりこれまで

最近はその歌を唄う機会も少く
なつたが、今度八十周年記念を迎
えると聞いて、むしよにこの歌
が懐しくなつた。今までは一番と
二番位しか覚えていなかったが、
母校の事務局にお願いして調べて
貰つて、全曲が分つた。又作者の
中居さんの消息も分つたわけだ。
中学で野球の選手をたり、バス
ケットボールの選手もしたので、
スポーツを通しての思い出も沢山
あるが、創立三十周年記念も最も
忘れ難い。懐しい思い出だ。

三十周年記念 祝歌

一、緑したる青山に

年ふりここに三十年
祝の歌もほがらかに
若き頃は脈管に湧き
情をこめて集いたる
我が八百の健男子
二、光栄の歴史はふりたれど
常世の緑いやまして
夢久しなる白銀の
楼閣高く鐘鳴れば
理想の駒はいなきまで
彼岸の彼方に馳すかな
三、かすみ晴れゆく黎明の
空に輝く新校に
緑も深き若人が
今日喜びの熱き胸
もゆる灯しの明らけく
行くてはるかに照すなり



51回卒 青山同窓会の動き

年一回の定期会合を
楽しむ

「また来年十一月の最終土曜日午後六時に会いましょう」の合言葉で開催してきた51回卒青山同窓会の第八回会合が、昨年の十一月二十七日に行なわれた。今回の出席者は恩師七名と同期生四十六名の五十三名であった。

既にお気付きのように、この会は日時と場所が決まっているので、当日なんの前触れもなく出席する者や卒業して初めて会う同期生も何人かおるといのが特色である。その年の幹事は五十、六十名位を基準に会場を準備するのだが、時には八十名近くも集って、廊下まで動員して会合した記憶がある。

こんな状態だから宴会中は大鼓が鳴ろうが、可愛い子ちゃんやが歌おうが、耳を傾ける者は殆んどなく、ただ懐しさのあまり専ら昔話に花を咲かせる。そこで踊り子も歌い手も、会の雰囲気にあっけにとられ、唯ぼろ然と眺め、飽きかえっているといった恰好である。

（51回卒 細貝）

もう20年近く続いている新春5日の恒例同期会は、常連の沢山巖阿部正岡先生と特別出席の渡辺浩太郎先輩に加へ、今年は札幌オリピックの年でもあるので体操を教えてくれた戸川右兵衛先生をゲストにお招きして開催した。

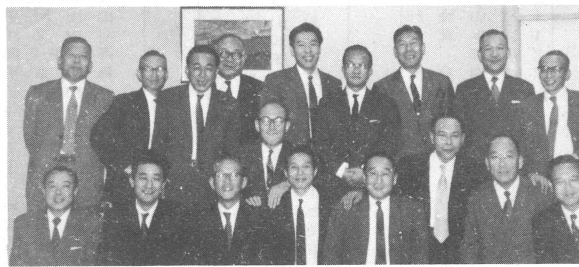
同窓会事務局が感心する程出席者が多く、毎年50人を割った事がないのは、幹事である我々も驚き乍らも同期一同の熱き友情に感謝している次第である。

この友情も、戦時下で育ったせいもか苦難を俱にした戦友愛に通ずる心情が、つなかりを今も尚強めていられるものと思へ感一沙のものがある。

「新春恒例の 同期会盛大なり」

54・55回生 松井稔英

卒業以来25年振りで元氣な顔を見せた徳谷交通公社新潟副所長と仁多見法人税係長を始め、年末の村会選挙で5期連続当選の清野半吉三川村会議長、喪中と同期会は別ですよと片岡東光社長、年末年始で事他多忙な中にも毎年律儀を欠かした事のない武藤輝一、新大外科学教授山田源行、鏡ヶ岡校長等々若ハゲも紅顔も昔話に夢中になって、幹事のフツコを大いに遊びやかし乍ら尽きるを知らぬ程の大盛況。そして80周年記念の募金五千円のお願もガッチリとやって、松の内のお餅へ、二次会へと流れた。



四十六回生 同期会

卒業以来三十余年を過ぎたわれわれではあるが去る十月二十三日同期会開催の案内に添着るもの二十三名、日頃の苦勞も吹き飛ばして楽しい一時を送った。数年前中断した同期会の再開であり、戦争の被害を最も大きく受けた年代として、今後残された人生を有意義に送ろうという決意を固めるのは当然、この日もそれぞれの仕事を披露して、互に協力しようとの話がまとまる。顔を思い出せずにいた者も在学時代の失敗談が出たところぞうだつたなあとたちまち時代は逆行して新潟弁丸出し、一段と盛り上がる雰囲気の中に時間の経つのも忘れて談笑が続いた。やがて鶴巻幹事の記念写真撮影となり、横山幹事の挨拶で名残りつきな会を閉じた。

母校創立八十周年を迎えるにあたり、己に吾々の時代の学校とは異質な面も多いが、彌栄を願う気持は変わらない。

白山高等学校長 高橋 是成

会員の移動

(昭和46年7月以降)
連絡のあったもの

期別	氏名	職業・勤務先	住所
23	齊藤 巖	開業 医	二二
23	川加 正	男 治子	三
38	藤原 芳	留 順	全
34	星 柴	湯 和	小
40	田 浅	栗 竹	高
65			
55			
49			

会員各位へ お願い

母校が創立八十周年を迎えるにあたり、四十九万円の予算で、式典、記念事業を実行することが金が必要とされましたので、募金委員から直接お願いの連絡をお願いいたしました。この募金目標を達成する為次のような計画を立てました。

一、各期の募金目標額 (別表)

一、会員一人の募金目標額

51回〜55回………五千円
56回〜65回………四千元
66回〜70回………三千元
71回以降………二千元

募金運動は、各期を中心として目標達成に動くわけですが、各期の実行委員の方が中心になってご尽力下さるようになっておりま

物故会員

期別	氏名	前職業	死亡年月日
23	齊藤 巖	開業 医	46. 7. 19
23	川加 正	男 治子	47. 1. 12
38	藤原 芳	留 順	46. 8. 29
34	星 柴	湯 和	46. 12. 12
40	田 浅	栗 竹	46. 7. 7
65			46. 8. 29
55			46. 11. 26
49			46. 10. 28

募金各期目標額

期別	目標額	期別	目標額	期別	目標額
1~27	10万	45	25万	65	20万
28	5	46	25	66	15
29	5	47	25	67	15
30	10	48	25	68	15
31	10	49	25	69	15
32	10	50	25	70	15
33	10	51	25	71	10
34	15	52	25	72	10
35	15	53	25	73	10
36	15	54	25	74	10
37	15	55	20	75	10
38	20	56	20	76	10
39	20	57	20	77	10
40	20	58	20		
41	20	59	20		
42	20	60	20		
43	20	61	20		
44	20	62	20		
		63	20		
		64	20		
		65	20	計	825

昭和45年度青山同窓会収支決算書

収入の部		支出の部	
科目	決算高	科目	決算高
繰越金	98,070	職員1人給料手当	276,940
入会金	154,200	会報発送、総会、新年会、役員会、案内状、郵便料、振替手数料	150,120
新卒業生会費	256,500	印刷費	29,900
会費	569,000	慶弔費	22,213
雑収入	1,758	退職手当積立金	50,000
合計	1,079,528	雑費	9,123
		会報印刷費	248,700
		会議費	113,899
		卒業生記念品代	95,400
		青陵祭補助	9,200
		通信制青山同窓会補助	25,600
		予備費	0
		合計	1,031,095

収支差引残高 48,433円 (次年度繰越)
上記の通り相違ないことを確認する。

昭和46年5月14日
監事 福山 健
監事 沢山 巖

昭和46年度青山同窓会収支予算書

収入の部		支出の部	
科目	予算高	科目	予算高
繰越金	48,433	職員1人給料手当	300,000
入会金	150,000	会報発送、総会、新年会、役員会、案内状、郵便料、振替手数料	154,000
新卒業生会費	249,500	印刷費	30,000
会費	650,000	慶弔費	30,000
雑収入	2,000	退職手当積立金	50,000
合計	1,099,933	雑費	10,933
		会報印刷費	230,000
		会議費	150,000
		卒業生記念品代	100,000
		青陵祭補助	10,000
		通信制青山同窓会補助	25,000
		予備費	10,000
		合計	1,099,933

昭和46年度青山同窓会費納入者

(年額1口500円 数字は納入口数)
4月~12月までに納入済のもの

会報への記載をもって領収証発行にかえさせていただきます。

本年度分未納の方は3月までに納入下さるようお願い申し上げます。
この分については次回会報に掲載いたします。

期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名	期別	氏名
10	二臣郎平三郎	38	郎泉式郎	44	吉二藏作吾	49	介平録平	53	治六彦通	61	助二敷一等	70	也彰明功	12	策子子
13	篤義一太	39	二希一	45	門正忠正	50	久正謙彰	54	野崎川	55	慶亀健	71	達智卓		栄子子
14	柳藤橋下	40	池林野水	46	木田方達	51	田久川藤	56	中野長	57	藤健	72	田田山		カ小夜
16	小齊高石	41	小小齊佐	47	村吉吉	52	倉佐佐佐	58	野崎川	59	慶亀健	73	田田山		ミみ
19	柳藤橋下	42	池林野水	48	木田方達	53	田久川藤	60	中野長			74	田田山		ト
20	小齊高石	43	小小齊佐	49	村吉吉							75	田田山		イ
21	柳藤橋下	44	池林野水	50	木田方達							76	田田山		シ
22	小齊高石	45	小小齊佐	51	村吉吉							77	田田山		子
23	柳藤橋下	46	池林野水	52	木田方達							78	田田山		子
24	小齊高石	47	小小齊佐	53	村吉吉							79	田田山		子
25	柳藤橋下	48	池林野水	54	木田方達							80	田田山		子
26	小齊高石	49	小小齊佐	55	村吉吉							81	田田山		子
27	柳藤橋下	50	池林野水	56	木田方達							82	田田山		子
28	小齊高石	51	小小齊佐	57	村吉吉							83	田田山		子
29	柳藤橋下	52	池林野水	58	木田方達							84	田田山		子
30	小齊高石	53	小小齊佐	59	村吉吉							85	田田山		子
31	柳藤橋下	54	池林野水	60	木田方達							86	田田山		子
32	小齊高石	55	小小齊佐									87	田田山		子
33	柳藤橋下	56	池林野水									88	田田山		子
		57	小小齊佐									89	田田山		子
		58	池林野水									90	田田山		子
		59	小小齊佐									91	田田山		子
		60	池林野水									92	田田山		子